

2005年9月26日

記者会見 ブルストラー社長 ステートメント

本日、国土交通省に9件のリコール他の届出をいたしました。

これらは去る6月に公表した品質問題の総括に包括される案件を含みますが、これによって、所謂「欠陥隠し」と言われ、過去30年にも及んで調査をしてまいりました品質問題で、市場措置が必要なものの全て、合計98件のリコール届出を完了いたしました。

昨年6月から1年3ヶ月という時間を要し、この間お客様、社会の皆様、国土交通省及びマスコミの皆様方に多大なご心配とご迷惑をお掛けしたことをこの場をお借りして改めてお詫び申し上げます。

併せて、この間の市場措置のプロセスにおいて、国土交通省及びマスコミの方々のご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

本日該当するリコール届出は完了したものの、今後はさらに新経営陣として、一日も早い“リコール作業の完遂”を最優先課題として強く自戒し、引き続き三菱ふそうグループ会社の全社員で全力を上げて迅速に取り組んでまいります。この間お車の入庫を始めお客様や社会の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご存知のとおり、昨年3月の大型車フロントハブのリコール届出以降、弊社は徹底的に品質問題の調査を行い、これまでご報告申し上げた様に品質問題・不具合情報の全てを公表してまいりました。

弊社品質問題背景には、弊社の技術・品質に対する過信、社内の企業文化における問題が存在し、それらに起因して弊社の品質・安全に対する取り組みが不十分だったことが明らかになったと存じます。

この企業体質を変革していくため、私ども新経営陣をはじめ、社員ひとりひとりが過去の過ちを真摯に受け止め、反省し、問題を引き起こした原因ひとつひとつを摘み、今後二度とこのような問題を引き起こさない「新たな企業体質の確立」に向けて取り組んでおります。

そして何よりも、今後は開発から製造、販売、サービスに至る全ての企業活動において、徹底した「品質重視」と「安全第一」を実行してまいります。お客様に安心して弊社のクルマをご利用いただけるように、常にお客様の立場に立って、お客様の視点で考え、行動することにより、もう一度社会の皆様より信頼・信用しいただけるように、全社員が自らの仕事に全身全霊を注いで取り組むことを改めて徹底させております。

最後になりますが、本日海外出張の都合で本記者会見に出席できず、書面で所信を申し上げることになった非礼を伏してお詫び申し上げます。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
代表取締役社長・CEO
ハラルド・ブルストラー